

区自立支援協議会の特徴的な取組み・成果及び今後の計画（令和4年10月）

区	特徴的取組み・成果	今後の計画
北	<p>■相談支援事業所連絡会の開催 ▷今年度より、月に1回の開催としている。北区・東区内の相談事業所から出されたケースのケース検討を行っている。見立て力向上の取組みと地域課題の抽出を行っている。</p> <p>■グループ別検討の実施 ▷3つのテーマ別(療育・行動障がい・計画相談)に班を編成。地域課題の整理やその課題を解決するため、事業所見学や他区主催の研修会見学を行い、現状把握や連携のための検討を行っている。</p>	<p>■相談事業所連絡会で抽出された課題を区自立支援協議会において共有し、地域での課題を把握。さらに解決の取組みを検討。</p> <p>■療育班 ・保育園の発達支援コーディネーター研修と協働して、障がい児通所支援事業所見学会を実施する。 ・新潟市小学校教育研究会にて、福祉の仕組み、福祉と学校の連携について研修を行う。 ・来年度、学校と福祉の連携を図るための研修会開催準備を行う。</p> <p>■行動障がいを考える班 ・行動障がいへの理解を深めてもらうために必要な取り組みや事業所向け研修を検討する。</p> <p>■計画相談を考える班 ・北区、東区内の計画相談の支給決定数と相談支援事業所(相談支援専門員)の現状を確認。 ・相談支援専門員(事業所)を支える仕組みづくりを検討する。(新人研修、フォローアップ研修、メンタルケア等)。</p>
東	<p>■相談事業所連絡会の開催 ▷これまで4月から9月までの6回開催。 ▷IP法によるケース検討のほか、7月の連絡会では、障がい者虐待防止研修会を実施した。</p> <p>■ワーキンググループによる地域課題の検討 ▷「療育」「行動障がいを考える」「計画相談を考える」をテーマとしたワーキンググループを北区と共同で立ち上げた。活動内容を区自治協議会へ報告</p>	<p>■相談事業所連絡会の開催</p> <p>■ケース検討会の開催</p> <p>■ワーキンググループからの活動報告、意見交換</p>

<p style="text-align: center;">中 央</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 事例検討 ■ こども連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 福祉サービス利用の流れについて ▷ 令和3年度卒業生の進路状況、中央区在住の在校生の情報共有 ■ 障がい者の高齢期を考えるWGの開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 今年度の活動内容と目標について ■ 地域生活定着支援センターについての研修会 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 昨年度に続き第2弾として、主にサービス事業所向けに理解促進を目的として開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 事例検討、研修会を実施し、計画相談の質の向上を図る。 ■ こども連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 先生との意見交換等を継続的に行い、情報の共有を図る。 ■ 障がい者の高齢期を考えるWGの開催 <ul style="list-style-type: none"> ケアマネ・計画相談合同研修会の開催。 介護保険ショートステイ、デイサービス相談員向け説明会の開催。
<p style="text-align: center;">江 南</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援拠点等整備に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ▷ ワーキンググループを設置し、6月、8月に会議を開催。「体験の機会・場」機能について、「はたらく」をテーマとした江南区の地域課題の意見交換を行った。 ■ 児童支援部会の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ▷ 7月29日 江南区障がい児支援セミナーを開催。 参加者：区内小・中学校管理職、担当教諭、放デイ事業所、相談支援事業所等 計46名 その他 主催者14名 成 果：福祉事業所と学校関係者との相互理解を深め、課題の共有、連携のきっかけづくりを行うことができた。 ■ ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ IP法によるケース検討、相談員の意見交換会等。今年度は、従来のケース会議に加えて、対象を単独事業所に絞った会議も別途開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援拠点等整備を重点事業として、引き続き取り組む。有識者の声を聴くなどして協議を深め、具体的な取り組みを検討する。今年度末までに江南区としての骨子案を作成する。 ■ 障がい児支援セミナーの参加者アンケートの結果を参考に総括を行い、今後の課題を整理する。 来年度以降も定期的にセミナーを開催するため、今年度中に準備を進める。 ■ ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き IP法によるケース検討、相談員の意見交換会等を行い、地域課題の抽出、相談員の資質向上や業務の効率化を図る。

秋葉	<p>■障がい児支援</p> <p>▷支援ファイルの配布を継続し、活用方法を周知すると共に活用状況を把握。</p> <p>▷「障がい児つながる支援セミナー」を開催し、教育と福祉の連携に向けた意見交換等を行うことができた。(R4.8.1 学校・福祉関係者等 56名参加)</p> <p>■地域の移動について</p> <p>▷「通学」に関するアンケート結果から課題を整理し、具体的な対応を検討。</p> <p>■地域生活支援拠点等事業について</p> <p>▷「体験の機会・場」の機能について、既存の社会資源を念頭に置きながら、より具体的な検討を行う。</p> <p>■区相談連絡会の開催</p> <p>▷月に1回、区内の相談支援専門員が集まり、事例検討やグループスーパービジョンを実施。</p>	<p>■障がい児支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ファイルの配布及び活用方法の周知。 ・「障がい児つながる支援セミナー」の振り返り及び来年度の開催内容の検討。 <p>■医療と福祉の連携</p> <p>医療的ケアが必要な障がい児者の家族が情報交換等を行う「集いの場」の開催を検討。</p> <p>■地域の移動について</p> <p>移動支援の現状を共有できる冊子の作成を検討。</p> <p>■地域生活支援拠点等事業について</p> <p>「体験の機会・場」の機能について、既存の社会資源を念頭に置きながら、より具体的な検討を行う。</p> <p>■区相談連絡会の開催</p> <p>月に1回、区内の相談支援専門員が集まり、事例検討やグループスーパービジョンを実施。</p>
南	<p>■児童ワーキンググループ</p> <p>▷関係機関合同研修会(R4.6.23)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「家庭と教育と福祉の連携」 ・講師：障がい福祉課、特別支援教育課 ・学校、放課後児童クラブ、放デイ、福祉関連事業所などから78名が参加 ・会場とオンラインのハイブリッド開催 <p>■地域生活支援拠点等ワーキンググループ</p> <p>▷立ち上げ、メンバー及び活動計画等</p> <p>■南区ケース会議</p> <p>▷IP法(相談支援・基幹・区 11名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8050世帯に対する在宅支援の検討 <p>▷勉強会(相談支援・基幹・区 10名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテークとアセスメントのポイント <p>▷意見交換会(関連事業所 28名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループスーパービジョンについて 	<p>■児童ワーキンググループ</p> <p>▷児童支援者向け研修会(R5.1 予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：放課後児童クラブ、放デイ等 <p>■地域生活支援拠点等ワーキンググループ</p> <p>▷第1回ワーキング(R4.10.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点等事業について ・今後の方針決定 <p>■南区ケース会議</p> <p>▷IP法 2回</p> <p>▷勉強会 1回</p> <p>▷意見交換会 1回</p>

<p>西</p>	<p>■途切れない支援連絡会(西区・西蒲区)の開催 (①R4.6.20、②R4.8.29) ▷学齢期の課題として、学校と福祉が連携を取る際、教職員や学校によって温度差がみられるため、障がい福祉サービスについて理解を深めて頂く機会として、西区・西蒲区の校長会で、障がい福祉サービスの説明と放デイ事業所の情報を紹介することを検討。</p> <p>■グループホーム連絡会議の開催(R4.6.15) ▷西区・西蒲区にあるグループホームによる意見交換会を行うと共に、障がい者虐待防止に関する運営基準が、令和4年度より努力義務から義務化になったことを受け、取組みや差別解消法、条例についての講話を行った。</p> <p>■西区ケース会議の開催(R4.5.27、R4.7.29) ▷西区自立支援協議会委員や相談支援事業所相談員による地域の問題、課題のあるケースについて検討を行った。</p> <p>■相談支援事業所会議の開催 (①R4.6.1、②R4.8.19) ▷①相談支援事業所及び西区の保健師による合同防災研修会を実施。災害時にどのような支援ができるかなど、災害時体制の検討と課題の整理を行った。 ▷②相談支援事業所相談員が困っていることや相談したいことなどについて、意見交換や状況・情報共有を行った。</p> <p>■広報会議 ▷広報紙(名称:サンセットオレンジニュース)第1号が完成し、西区協議会委員と区内各事業所に配布。</p>	<p>■地域課題の解決に向けた、各専門会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途切れない支援連絡会 ・グループホーム連絡会議 ・広報会議 ・西区ケース会議 ・相談支援事業所会議 ・ひきこもりびとミーティングへの参画
----------	---	---

西 蒲	<p>■療育支援会議</p> <p>▷がくふく連携会議(第1回 R4.5.25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の進路調整に伴う情報共有、連携 <p>▷こども支援連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区・西蒲区発達支援コーディネーター研修会(R4.9.21)に参加。障がい児福祉制度の説明及び児童発達支援事業の1事業所から動画をういて説明してもらった。 <p>■生活支援会議</p> <p>▷相談支援事業所会議(年2回)・地域生活支援拠点会議(年6回)</p> <p>※ケース会議も含め複合的に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4.6.22「事業所での障がい者虐待防止」 ・R4.7.20「西蒲区の地域課題「8050問題」」 ・R4.9.21「「8050問題」発見後の支援」 <p>▷西区・西蒲区グループホーム連絡会(西区と共催)(第1回 R4.6.15)</p> <p>■広報部会：自立支援協議会の周知、広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号を作成 	<p>■療育支援会議</p> <p>▷がくふく連携会議(第2回 R4.11.16)</p> <p>■生活支援会議</p> <p>▷相談支援事業所会議・地域生活支援拠点会議</p> <p>※ケース会議も含め複合的に開催</p> <p>■広報部会：自立支援協議会の周知、広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2号作成
--------	---	--